



研修医の手記

松村 大輝



はじめまして。2025年4月より市立釧路総合病院にて初期臨床研修医としてお世話になっております、松村大輝と申します。この度はご挨拶させていただき機会をいただき光栄に思います。

私は生まれも育ちも静岡県であり、病院見学や実習で来た際に釧路の街並みや自然に惹かれました。また市立釧路総合病院は多くの診療科があり、釧路地域の医療において重要な医療機関であり、非常に多くのことを学べるという点から研修させていただこうと決心いたしました。釧路に住み始めて約8か月が経ちましたが、夏の霧や道路でばったり出くわす鹿、冬の凍結した路面、通年見ることが出来る夕日などの自然や、豊かな海鮮など食に関しても満喫しております。

指導医の先生方や病院のスタッフの方々、研修医の先輩方の姿を見て、自身の未熟さを痛感し、ご指導をいただきながら日々研修させていただいております。救急外来においては患者様に必要な医療を素早く判断し、提供しなければならないということに非常に難しさを感じていますが、何度も経験するたびに新たな課題が生じると同時にできることが増えていくのをひしひしと感じております。

あっという間に約8か月が経過しておりますが、2年間の研修を通じて先輩方のような素晴らしい医師となれるように努力する所存です。今後の北海道の医療に貢献できるように精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



DEN修了者とともに、右端 大島看護師

エキスパートナース紹介 Part.28

「ここは大島さんに相談してみよう。」今年度はいろんな人がこの言葉を口にしていました。看護師だけでなく医師や事務部からも頼りにされ、幅広く活躍している大島看護師にお話を聞きました。

Q 2017年に精神看護の専門看護師になってから、どのような活動をされているのですか？

資格取得後からリエゾンチームの看護師として活動しています。せん妄・不眠・不安・抑うつなど、身体の不調に伴い気持ちの面でも不調になることがあります。このような症状で困っている方に対して、チームの医師や薬剤師などと協働しケアを行っています。また、認知症ケアチーム、自殺予防チームの立ち上げも行い活動しています。

Q 院内虐待防止委員会でも活動していますね。

元々は精神科従事者による虐待の通報が義務付けられ、より一層虐待予防に取り組む必要があったことから始まりました。そこから、虐待防止は精神科だけではなく病院全体の課題として発展し、現在の活動に繋がりました。

Q 職員のメンタルヘルスも大切ですね。

そうですね、先ほどの質問にも関連するのですが、職員のストレス増加は本人のメンタル不調だけでなく、虐待につながるケースもあります。メンタルヘルスのセルフケアについて研修や、不調を来している方の面談、休職となってしまった方への復職支援も行っています。

Q 院内認定看護師制度「DEN」について教えてください。

高齢化に伴い、せん妄になる患者様が増えています。せん妄予防や、せん妄の早期回復を目指すには病棟看護師のスキルアップが不可欠ですので、せん妄のエキスパートを育成する目的でこの制度を始めました。1年間、様々な研修を受け5名のDENが誕生しました。

Q 最後に、今後の目標を教えてください。

現在は主に入院中の患者様が安心して療養できるようサポートしていますが、地域で生活している方たちへの心のサポートもできればと考えています。

精神看護専門看護師 大島 友美



第38号：令和8年1月13日発行

ご挨拶



市立釧路総合病院 院長

森田 研

当院で建設中の新棟は免震装置の設置が完了し、上階となる区域の積み上げが始まりました。大型クレーンで鉄骨など部品を配置してコンクリートを注入する様子が見て取れ、年明けから階数が増えてきますので、より診療区域の近くで建築音が聞こえるようになります。病院建築を計画している他病院では建築資材の価格上昇に伴う建築費の高騰が続いておりますが、当院はすでに着工していることから、幸いにも費用の上昇幅は一定程度抑えられている状況です。

近年の病院経営の厳しさは、地域医療を担う施設に対する補助金の補正予算が発表されたことにも映し出されています。そのような中で、本年ほど当院の多職種スタッフの力を感じた年はありませんでした。医療技術専門職はもちろんのこと、組織のロジスティックスを担う事務系職員のプロフェッショナルな

仕事ぶりに勇気づけられることも多くありました。横連携の力を強力な武器とし、さらに地域の医療機関の皆様との協力を推進すれば、この難局を乗り越えることが可能であると考えています。

新病院で設置する予定の新たな機能のうち、現病院で前倒し施行が可能なものとして、患者サポートセンターと救急病床の拡充を段階的に開始しており、見えてきた課題にはさっそく改善策に取り組んでいます。ここでも多職種で構成する患者サポートセンターの働きが、医療DXとともに効率的でスムーズな診療の実現に貢献しています。

この他の新病院における取組みとして、可変陰圧区域型感染病棟、フリーアドレス化を取り入れた外来・病棟、ハイブリッド機能ER、多職種が利用する診療シミュレーションセンターの稼働を目指しております。2027年7月の診療区域移転による新棟稼働、またその先の新病院稼働に向け、三次救急・災害拠点病院としての役割を果たしてまいりますので、地域医療機関の皆様の連携とご協力をお願いいたします。

理念「信頼と満足の創造」

経営方針

- 十分な説明のもとに患者の意思を尊重し、患者中心の医療を行います。
- 地域完結医療を目指し、高度医療・救急医療を充実します。
- 地域医療を支援するため、病診連携を密にします。
- 心温かな質の高い医療サービスを実践するため、日々研鑽します。
- 良識と協調性のある医療人として、意欲と誇りの持てる職場環境づくりに努めます。



市立釧路総合病院

発行責任 広報委員会

〒085-0822 釧路市春湖台1番12号

TEL(0154)41-6121・FAX(0154)41-6511



ホームページ



Instagram

診療科紹介 ～循環器内科～

市立釧路総合病院循環器内科です。当科は常勤医6名（うち3名が循環器専門医）と多職種スタッフが力を合わせ、地域の皆様が安心して受診できる体制を整えています。高血圧や糖尿病などの生活習慣病から、心筋梗塞や狭心症、不整脈、下肢の血管病、そして心不全まで幅広く対応し、救急から慢性期まで切れ目のない診療を行っています。



循環器内科 医師

Kushiro City General Hospital
Heart Failure Team
釧路心不全チームロゴ

医師はカテーテル治療や不整脈治療といった専門性を持ち、心不全認定看護師や心不全療養指導士と協働・連携しながら、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を心がけています。必要時には北海道大学病院循環器内科などの高次医療機関と協力し、遠隔コンサルテーションや出張治療で最適な治療につなげています。また、釧路地域で唯一の三次医療機関として、ImpellaやECMOを用いた重症救急にも対応しています。

2024年には多職種による心不全チームを立ち上げ、院内連携や地域への啓発活動にも取り組んでいます。今後も専門性と温かいケアを両立し、地域の皆様に信頼される医療を提供してまいります。



循環器内科 心不全チーム

～無痛分娩について～

近年、出産時の選択肢として、無痛分娩を希望される方が全国的に増えています。これは、分娩に伴う痛みを和らげ、お母様の心身の負担を軽減することで、より前向きに出産に臨んでいただくことを目的としています。少子化対策や女性の社会活躍推進といった国の政策とも深く関連しており、厚生労働省もその適切な普及と安全性の確保を重要課題と位置づけています。

当院では、こうした時代のニーズに応えるため、安全管理体制を徹底した上で、この分娩方法を積極的に提供しています。当院は釧路地域で唯一、無痛分娩が可能な施設です。分娩は自然の営みですが、過度な痛みは時には血圧上昇など母体に影響を及ぼすこともあります。

この方法を希望される方は年々増加しており、今年度の実績はすでに50件を優に超えました。無痛分娩に伴うメリットはもちろん、リスクについてもご理解いただきながら、産婦人科医師、麻酔科医師、助産師、看護師が一致団結し、連携を取りながら分娩管理を行っている結果だと自負しております。

当院の産科では、安全な医療提供に加え、病棟助産師の活動を通じて、出産が温かい思い出となる

痛みを和らげて、安心して出産を

無痛分娩

Point 1

道東地域で唯一

道東地域における無痛分娩の実施医療機関は当院だけです

Point 2

豊富な実績

2021年から累計250件以上の実績があります

Point 3

麻酔科医師が常駐

専任の麻酔科専門医が担当するので安心です

ようサービスの工夫にも力を入れています。具体的には、記念撮影用のフォトブースの設置や、人生の門出を彩るオリジナル出生届の作成、さらには心身のリラックスを促すアロママッサージの提供など、お一人お一人の出産計画と希望を尊重し、寄り添ったケアを大切にしています。

当院は市立病院として、今後も国の動向を注視し、関連学会のガイドラインを遵守してまいります。地域における安心・安全な分娩方法提供の拠点としての役割を積極的に果たし、専門性の高い医療チームによるサポートを通じて、お母様と赤ちゃんにとって最良の出産体験を提供できるよう努めてまいります。ご不安な点、ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

オープンホスピタル

令和7年11月15日（土）に第6回「オープンホスピタル」を開催し、市内の中学生18名が職場体験に参加しました。「命を救う最前線 ドクター＆ナース体験コース」「病院のサイエンスヒーロー 医療を支える技術者コース」「命を支える チーム医療 プロフェッショナルコース」の3コースに分かれ、手術室や救命救急センター、検査科、リハビリテーション科、薬剤部、栄養科など、病院のさまざまな部署での仕事を体験しました。手術支援ロボット「ダヴィンチ」の操作体験やドクターヘリの見学、医療技術部の体験は「医療の最前線を身近に感じられた」と大変好評で、多くの参加者が医療の仕事への関心や将来の進路について、あらためて考えるきっかけになった様子でした。未来の医療従事者・未来の同僚がここから生まれてくれたら嬉しいと思います。



全国公立病院連盟 第94回総会・事務長会・看護部長会合同会議

令和7年10月15日から17日にかけて、釧路市において全国公立病院連盟の総会が開催されました。本連盟は全国103の公立病院で構成されており、今回は全国各地から約130名の病院長、看護部長、事務部長が集いました。開催病院として市立釧路総合病院が運営を担い、総会では公立病院を取り巻く現状や今後の医療提供体制などについて活発な議論が交わされました。エクスカーションでは、（株）大塚製薬工場釧路工場や釧路湿原を見学し、地域の産業や自然の魅力にも触れていただきました。釧路の地で学びと交流を深める有意義な三日間となりました。



新棟建設工事の進捗

新棟建設工事は順調に進捗しており、このたび基礎工事が無事に完了いたしました。これにより、建物を支える重要な工程が一区切りとなります。併せてタワークレーンの設置作業も完了し、鉄骨建方に向けた準備が整いました。今後は建物の形状が徐々に立ち上がる段階へと移行いたします。

工事の進捗状況につきましては、当院ホームページおよび公式Instagramにて随時ご案内しておりますので、ぜひご覧ください。



令和7年11月現在の工事進捗状況

タワークレーン先端部



令和7年11月実施の院内向け工事現場見学会の様子

事業スケジュール

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
新 棟	実施設計	本体工事			引越	7月 新棟オープン	
既存棟	実施設計		改修・解体工事				